

双葉小学校総合体験学習 2018年3月12日

今年度第3回目の総合学習体験日です。今日のテーマは、「木もれびの森にできることはないだろうか」です。今日の作業は、コナラ苗木の移植です。「みんなの広場」（H地区とも呼んでいる）で育った苗を、A地区の森の再生エリアに移植して、大きく育てようという計画です。事前に移植用コナラの根切りと移植用穴掘りを実施した。



さて、当日。小学校から2列になって、みんなの森を目指します。

2人のペアで持参した自前の移植ごてで掘り起こし、持参のビニール袋に苗と苗周りの土を入れました。少々土を入れすぎて、重くなって袋が破けてしまうペアもありました。森の再生エリアには、朝からヘルメット、スコップ、腐葉土、石灰、水（4L大型ペットボトル）が



用意されていました。

移植作業の説明後、ペアで作業開始。穴が小さいかなとより掘るペア、袋から出して植えるペア、どうしたらいいか悩むペアといろいろです。深めの穴に土を入れ、水をかけ、土を入れて地面より高めに、しっかりと土を固めるためコナラの周りを靴で上から踏みつける、水をかける、腐葉土の上に乘せる、添え木を立て、コナラと添え木を誘因のひもで8の字に結ぶ。全作業を終了する。振り返りでは、コナラの成長を見られてよかった。どんぐりから木になっていくところが分かって良かったなどの感想を聞くことができた。



中央緑地を見て帰ろうかなとのプランで、途中トイレ休憩を。芝生広場の満開の河津桜を見学。森の中を通り抜けて遠くなった学校へと、少々ばらけて帰りました。これで、3回の総合体験学習が終わりました。3年生の皆さんが、木もれびの森の保全活動に参加されることを期待しています。

